

【矢沢地域】「矢沢地区義務教育学校基本構想」（案）の説明会 質疑・意見一覧（R6.4.22）

○開催日時：令和6年4月22日（月） ○開催場所：矢沢振興センター 大広間 ○参加人数：5名

No.	質疑・意見	回答
1	「その他施設整備において特記すべき事項」において、悪臭対策に考慮し学校施設の整備を検討するとあるが、どのように考慮するのか？	今後設計業者と相談していくが空調設備を充実させることにより対策していく。ただ、屋外ではこれまでと変わらないと思う。 悪臭モニターを矢沢小中学校の先生が行っており中学校の方が比較的報告件数が低い結果となっている。
2	矢沢ナビスクールのふるさと学習について、「矢沢の宝探し」という項目で各種記念館や神楽、農業体験とある。本日は幸田神楽の伝承者が参加しているが、こういった地域の財産を、ぜひとも子どもたちに伝え、いずれは伝承者になっていたければありがたいと思う。 ここに書いてあるもの以外で、なにか構想があれば教えていただきたい。	ふるさと学習は、自分の地域にプライドを持つことができ、自分の思いや立ち位置を子どもたち同士でアピールできる最高の機会となる。その地域の郷土芸能や歴史文化、先人など選択肢が様々あるが、いずれも地域の方々の協力をいただかないといけない。幸いなことに宮沢賢治記念館や新渡戸記念館そして博物館が近くにあり、学芸員の導入など他の地域と比べると強い味方がいる。 学習のプログラムについて現段階で固めてしまうと、この先身動きが取れなくなってしまう。地域の歴史や文化の教材化について、教育課程部会や地域連携部会で今後検討していく。
3	中学校に通っていた時、ソフトボール部や野球部、サッカー部がグラウンドで同時に部活動を行っており、狭いと感じていた。 説明では教室の増設や駐車場の確保などとあったが、中学校の敷地に収まるのか単純に疑問である。 今後部活動の地域移行などで影響があると思うが、スポーツができる広々としたスペースは欲しいと思う。数値だけではイメージが難しい。	今後の基本設計において、体育や部活動を行いやすい環境づくりも含めて、建物の配置や敷地をどのように活用するかを検討していく。 矢沢はスポーツが盛んな地域であるが、人口の推移をみると、部活動の数は減っていくものと思う。 中学校はかなり変形した敷地となっており、近隣市有地の活用や場合によっては周辺でもしお譲りいただけたところがあれば、お譲りいただくなど検討を進めていく。
4	義務教育学校を設置するとなると、花巻では初めてであるし、県内でもまだ珍しいものであると思う。見学者が様々来ると想定されるが、是非とも立派なものを建てていただきたい。 また、教職員の働きやすさについても、義務教育学校となってさらによくなっていくようにしていただきたい。	